

今年四月一日より五月十三日まで、熊谷市熊谷図書館三階の美術展に開催されている野口白汀先生の遺墨展が開始された。名筆を偲んで多くの人が訪れま

した。先生の足跡は周知の事実であり、熊谷市ではこの機会に熊谷市における書道界の活動や今後について、熊谷市書人連盟会長であり、白汀先生の愛弟子でもあった栗崎浩一路先生にお話を伺いました。

熊谷市には、書に携わる人たちが組織する熊谷市書人連盟があり、中央の第一線で活躍している書家から、楽しみで筆を持っている愛好家まで、様々な人が会員になっています。毎年七月に連盟が主催する「熊谷市書道展」は

三十八回の歴史があり、市民に愛されている書道展です。この書道展には特別企画展も併催されます。一昨年は熊谷市のキャッチフレーズである「あついで」熊谷に協賛し、うちわに書く展を昨年は東日本大震災のため十月開催になりました。辰年の年賀状展を開催し、大好評だったそうです。この「辰年の年賀状」は十二月に八木橋百貨店が開催した子供達の「書き初め展」の会場にも飾られ、大勢の家族連れが楽しんでいました。この勢は今年も八木橋百貨店で開催の予定だそうです。十一月に開催している「熊谷市書人連盟作品展」も、書のある生活」をテーマに、家庭に飾れる「小作品」による楽しい書道展として多くの人に親しまれています。

今後は、市内の公共的な場や壁面を持つお店などに会員の作品を飾ってもらう、多くの人が書を楽しむ、理解や関心を高めるような企画も模索中とのことです。

それから、熊谷市近郊の高校は中央で活躍している実力のある先生が指導しているところが多く、熊谷市の高校生の書のレベルは全国でもトップクラスです。この若い力が伸び、花開き、書家として活躍する人材に育てることも私たちのやらねばならない事と話されていました。

野口白汀先生の培われた土壌に地元

の書家の方々に多くの人が書家という文化の花を咲かせ続けてくださることを大いに期待したいと思います。

(M)

平成 24 年度市民協働「熊谷の力」涼しさ体感事業

「私を植えて」 小さな苗木プレゼント！！

「苗木アート展示」…竹と苗木によるアートの展示です。

◆熊谷市役所・・・7/17 (X) - 8/17 (金)

◆市緑化センター・・・7/17 (X) - 7/31 (X)

◆妻沼行政センター・・・8/1 (水) - 8/17 (金)

◆江南行政センター

◆大里行政センター

「彩の国ニュースほっと」に出演！

★テレビ玉★

テレビ埼玉 平成24年5月5日 (土) 放送

5月7日は、粉の日とされています。埼玉県庁の公報広報課より取材依頼を頂き、テレビ玉のスタッフと打ち合わせを行い、取材日に備えました。小麦クラスター研究会と同時取材となり、小麦の会のパウンドケーキの製造現場が撮影の中心となりました。リポーターの小谷大輔さんと小麦の会の製造部が意気投合し楽しい収録となりました。

小麦の会のクマを前面に描いた支援自販機や、直売所の取材、スタジオの皆様と小麦の会の「パウンドケーキ」「パウンド・フォー・パウンド」をご試食頂き大好評でした。放映の日は、小麦の会の会員のご家族は、そろってお母さんの熱演に声援を送りました。日常にない素晴らしい経験をさせて頂きました。県庁、テレビ玉さん有難う！

※録画CDが御覧いただけます。ご覧になりたい方はご連絡下さい。

書のある生活

栗崎浩一路さん (本名)

熊谷市書人連盟会長
毎日書道展相談役
熊谷市美術家協会顧問



熊谷市書人連盟会長、毎日書道展相談役、熊谷市美術家協会顧問の栗崎浩一路先生は、今年四月一日より五月十三日まで、熊谷市熊谷図書館三階の美術展に開催されている野口白汀先生の遺墨展が開始された。名筆を偲んで多くの人が訪れま

両親が書が好きで小学校より浅見雲溪先生に師事。熊谷女子高校書道部では書道を同文芸会会長鈴木静村先生に指導頂き、妻沼さん付き続き同文芸会の熊谷支部長を務められ、書道誌の発行にお力を注いでおられます。また、鈴木静村先生の指導する、青幽会の常任理事の要職に在り定期的に東京銀座、鳩居堂にて社中展を開催しておられます。

東京都杉並区に事務局を置く、本年百周年を迎えた瑞雲書道会の評議員をされている。家業の米穀店の傍ら書道を主宰され、女性のお弟子さんが多く香雪先生のお人柄集っている。自炊へのこだわりが高く、玄米を水々愛用されている。血液をサラサラきれいにして健康が全ての元とおっしゃる。

くまがや小麦の会の会員として書の世界より貢献して下さっている。

(H)

玄米食に拘る 又流書家

妻沼香雲さん (本名・千鶴子)

熊谷市箱田六一四五
電話 048-521-0866

熊谷市書人連盟会員
瑞雲書道会評議員
熊谷市美術家協会会員
青幽会常任理事

「彩の国ニュースほっと」に出演！

★テレビ玉★

テレビ埼玉 平成24年5月5日 (土) 放送

いっまでもキレイがいいね

フロアーコーティング 水廻りのコーティング

BEST HOME・BEST COAT

金井産業株式会社

本社 熊谷市桜町1-4-21
TEL 048-521-1193
mail info@popolo-net.com
http://www.popolo-net.com/

熊谷の書道

野口白汀先生のご子息、野口岱寛先生を桜木町の自宅にお尋ねした。紫陽花下野草が心地よく生けられている多聞から仕事場へ御通し下さった。

白汀先生のご逝去から五年が経過しているが、父の文房四宝に対する思い、厳しさを強く感じ、筆、墨等また手が着けられないと岱寛先生はお話になる。青年の頃、父親の筆を使い怒られた経験が御有りになる。

白汀先生がお描きになったという、自画像をお見せ下さった。お若いころの御作と伺ったが、隙のない美行きを感じさせる。白汀先生は美大でデザイン・絵を学んだこともあり旅行に行くとき写真は撮らずひたすらスケッチをされたという。絵の感覚が書に反映され、野性味のある作品を多く残された。中国の深い書のリズムであり線が生きていることと岱寛先生はおっしゃる。

白汀先生は二十代初めより松井如流先生の門を叩き、ご苦労を重ね書への道を開いていった。後に白汀先生は息子に対して「父は師ではない」と松井先生に預けられた。

子供の頃の素直さを持った父、白汀は自然であり、心の趣くま書に向かっていた。日展が近くと神様の昂父の傍にはいられた。家族は外へ出て過ごすことが多かったと言った。凄しい迫力で書かれたことと白汀先生のエネルギーを彷彿とした。墨を吸った紙は高張力天井まで重ねられていった。亡くなって初めて父となった感じがするとお話された。

(H)

愛媛県四国中央市のご出身で終戦を中国で迎え、残留孤児になる寸前で助かった。郷里に戻り地場産業の製紙工場に就職されたが、書の道を志し、教員資格取得に上京された。

熊谷に縁あり、熊谷高校で教鞭を執られた。六年間は国語の教師、徐々に書道中心の教師として通算二十年で勤務された。この間、進学校の熊谷高校では書道の大学を目指す学生が少なく、熊谷女子高校、不動岡高校、伊勢学園の学生を含めて十四名を送った。

歴史の古い熊高では貴重な書が、時代の流れに埋もれていた。書庫より発掘した渡沢栄一氏の書は半だけを生かす事が出来た。現在常勤講師の部屋に掲げられている。ブル協の倉庫から善道館柔道の祖・嘉納治五郎の「精力善用自他共栄」の額が出てきた時は本当に驚いたと藤澤先生は微笑まれた。「書は楷書を得意とするが、近年は平安朝のかな書に関心を寄せて研究している。熊谷は私の故郷になりました」と語られた。

先生が主催される杉形会は読むことも出来ないで、お伺いした所、孔子の論語に出て来る言葉で「文質彬彬」から命名されたとお話し下さった。文は外見、質は中身彬彬は、程よく調和していますよ。との事。表に出す態度で自分の中身と背筋が寒くなった。初めて御目に掛らせて頂き、去り難い気持ちでいっぱいになりました。

(H)

柴崎泉聲さん (本名・義夫)

熊谷市筑波一五八
電話 048-521-1562

熊谷市書人連盟副会長
熊谷市美術家協会副会長
毎日書道展審査委員
東原書道会副理事長

柴崎先生は高校生のとき、野口白汀先生に入門され、五年前に野口先生がご逝去されたまでの四十年間師事され、毎日書道展、埼玉県展で作品を発表されているとのことだ。

熊谷市でも熊谷書人連盟の副会長の要職にあり、連盟の企画部を担当され一昨年は「辰年の年賀状」展等の企画を担当されました。年賀状は昨年暮れは八木橋百貨店に展示され大変好評だったとのことでした。

今、連盟では「まちかど書展」を企画中で、銀行、郵便局、病院等の公的機関から、市内の商店等の市民の目に触れる壁面に会員の作品を展示して頂き、広く市民の皆様は「書作品」に接して頂きたいとお話されていました。町の隅々まで「書の町熊谷」をアピールして参ります。

(H)

森 医院

こどもクリニック

熊谷市石原100-1 (熊谷警察そば)
電話 048-599-3344
http://www.mori-kodomo.jp

診療時間 月 火 水 木 金 土 日・夜

午前9:00~12:30 ● ● ● ● ● ● ●

午後2:30~4:00 ● ● ● ● ● ● ●

午後4:00~6:30 ● ● ● ● ● ● ●

▲土曜日は午後2:00~4:30 (受付4:00まで)

野口白汀先生を偲んで

野口岱寛さん (本名・淳)

熊谷市桜木町一四八
電話 048-522-4649

東原書道会理事長
毎日書道展審査委員

野口白汀先生のご子息、野口岱寛先生を桜木町の自宅にお尋ねした。紫陽花下野草が心地よく生けられている多聞から仕事場へ御通し下さった。

白汀先生のご逝去から五年が経過しているが、父の文房四宝に対する思い、厳しさを強く感じ、筆、墨等また手が着けられないと岱寛先生はお話になる。青年の頃、父親の筆を使い怒られた経験が御有りになる。

白汀先生がお描きになったという、自画像をお見せ下さった。お若いころの御作と伺ったが、隙のない美行きを感じさせる。白汀先生は美大でデザイン・絵を学んだこともあり旅行に行くとき写真は撮らずひたすらスケッチをされたという。絵の感覚が書に反映され、野性味のある作品を多く残された。中国の深い書のリズムであり線が生きていることと岱寛先生はおっしゃる。

白汀先生は二十代初めより松井如流先生の門を叩き、ご苦労を重ね書への道を開いていった。後に白汀先生は息子に対して「父は師ではない」と松井先生に預けられた。

子供の頃の素直さを持った父、白汀は自然であり、心の趣くま書に向かっていた。日展が近くと神様の昂父の傍にはいられた。家族は外へ出て過ごすことが多かったと言った。凄しい迫力で書かれたことと白汀先生のエネルギーを彷彿とした。墨を吸った紙は高張力天井まで重ねられていった。亡くなって初めて父となった感じがするとお話された。

(H)

渡辺継齊さん (本名・是仁)

熊谷市別府三三三
電話 048-532-1562

熊谷市文化連合会会長
熊谷市日中友好協会会長
熊谷市書人連盟副会長

渡辺先生は高校生のとき、野口白汀先生に入門され、五年前に野口先生がご逝去されたまでの四十年間師事され、毎日書道展、埼玉県展で作品を発表されているとのことだ。

熊谷市でも熊谷書人連盟の副会長の要職にあり、連盟の企画部を担当され一昨年は「辰年の年賀状」展等の企画を担当されました。年賀状は昨年暮れは八木橋百貨店に展示され大変好評だったとのことでした。

今、連盟では「まちかど書展」を企画中で、銀行、郵便局、病院等の公的機関から、市内の商店等の市民の目に触れる壁面に会員の作品を展示して頂き、広く市民の皆様は「書作品」に接して頂きたいとお話されていました。町の隅々まで「書の町熊谷」をアピールして参ります。

(H)

東京ガス(株) TOMOS 企業会員

ISO9001
ISO14001 認証取得

石井建設株式会社

■本社：熊谷市銀座7-12
TEL.048(522)5831

■工務部：熊谷市戸出497-1
TEL.048(523)9079

熊谷の書道は 県北随一

熊谷への係わりは、幼稚園の頃から父親の依田律堂先生の手ほどきを受け、六年生までには日本書道院の一段特待生となった。熊谷高校では渡辺継齊先生の指導を受けた。

昭和六三年お勤め先が週休二日制となった為、本格的に書道と向き合われた。父上・依田律堂先生、母上・依田祇芳先生の指導を受ける。母上・依田祇芳先生の指導を受ける。母上・依田祇芳先生の指導を受ける。

昭和六三年お勤め先が週休二日制となった為、本格的に書道と向き合われた。父上・依田律堂先生、母上・依田祇芳先生の指導を受ける。母上・依田祇芳先生の指導を受ける。

昭和六三年お勤め先が週休二日制となった為、本格的に書道と向き合われた。父上・依田律堂先生、母上・依田祇芳先生の指導を受ける。母上・依田祇芳先生の指導を受ける。

(H)

依田律道さん (本名・俊彦)

熊谷市久保島一九八五
電話 048-521-3932

熊谷市書人連盟事務局長
毎日書道展
熊谷市美術家協会理事
祥紙会

依田先生は高校生のとき、野口白汀先生に入門され、五年前に野口先生がご逝去されたまでの四十年間師事され、毎日書道展、埼玉県展で作品を発表されているとのことだ。

熊谷市でも熊谷書人連盟の副会長の要職にあり、連盟の企画部を担当され一昨年は「辰年の年賀状」展等の企画を担当されました。年賀状は昨年暮れは八木橋百貨店に展示され大変好評だったとのことでした。

今、連盟では「まちかど書展」を企画中で、銀行、郵便局、病院等の公的機関から、市内の商店等の市民の目に触れる壁面に会員の作品を展示して頂き、広く市民の皆様は「書作品」に接して頂きたいとお話されていました。町の隅々まで「書の町熊谷」をアピールして参ります。

(H)

豊かな実りを支える人々

(有) 中条農産サービス

社長 吉野克己さん

熊谷は埼玉一位の小麦生産地。六月上旬、麦秋の季節、黄金色に包まれた畑を見ながら、熊谷スポーツ文化公園の一角ファーマーズレストラン「くまどん」でインタビューをした。

「昔はこのあたりの田んぼは春田と言って、水はけが悪かったから、米だけを作っていたんだよ。(有)中条農産サービス社長、吉野克己さんが言う。麦はどちらかというと乾燥した土地で育つ植物。水はけの良い土地では、昔から米と麦の二毛作が行われていたが、すべての耕作地がそうであつたわけでは無い。

麦の生産を可能にしたのが、三十五年前に二〇年かけて行われた、総合土地改良パイロット事業。それで排水が整い、田畑の区画が大きくなり、大型耕作機械も導入できるようになった。

中条農産では現在七〇分の土地に麦を生産している。『農林六一号』が四五分、『あやひかり』が二五分、後はビートル用麦、四人のオナー、二人の社員、四〇五人のパートという人員、後継者も育つてきているのだとか。『田んぼの真ん中で時々麦や米に語りかけてるんだよ。』とはにかみながら教えてくれた。人と同じで愛情をたっぷりかけて、作物も育つのだぞだ。天候に左右され、苦勞もある。農業技術の習得には何十年もかかる。安定的な生産の為に努力も必要だ。しかし、昔の農業のイメージとは違つて楽しいよ。と、作物を育てて自然と相手に仕事をする人の鷹揚とした気風に包まれ、晴れ晴れしい気持ちになった。

作付品種の変更と「くまどん」うどんのこだわり・・・

ファーマーズレストラン「くまどん」
店長 吉野克則さん

成長企業のパートナー

税理士法人 曽根会計事務所

代表社員 曽根和也
http://www.sonetax.com

■会社設立 ■経理指導 ■税務申告
■記帳代行 ■確定申告 ■相続
■ファイナンシャルプランナー

お気軽にご相談ください

TEL 048-523-9814
熊谷市宮町2-132 林ビル3F